

Special Need Education Research Center

SNERC通信

(第25号－2012年5月)

国立大学法人 筑波大学
特別支援教育研究センター
センター長：四日市 章
〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1
TEL&FAX：03-3942-6923
<http://www.human.tsukuba.ac.jp/snerc/>
mail：snerc@human.tsukuba.ac.jp

■ 巻頭言

「 特別支援教育研究センターとのいっそうの連携を 」

筑波大学特別支援教育研究センター長 四日市 章

研究室の窓から見える木々の若々しい緑が、私の目と心に心地よくしみこんできます。この4月から、特別支援教育研究センターの責任者として着任いたしました。改築された文京校舎は、とても明るい雰囲気になった建物であり、私が学生時代に学んだ東京教育大学の校舎からは想像もつかない感じがします。筑波大学は昨年度、時代の変化に積極的に対応するため、教員組織の大きな変革を通して、より柔軟で効果的な組織運営を可能とするような新たな姿に変わろうとしています。

変革していく筑波大学の中であって、特別支援教育研究センターも自らの使命を認識して、我が国の特別支援教育体制の充実に向けていっそうの貢献していく事が求められていると思います。本センターは、障害科学域の関連教育研究組織や附属特別支援諸学校、附属学校教育局との連携の中での活動がきわめて重要となっています。社会の動きがますます速くなっていき、一人一人が多忙な時間を過ごす中であっても、問題解決や新たな行動計画策定のためには、時間をかけて話し合うことが、複数の組織が協働するための前提であり、きわめて重要であることに違いはないと思います。また、遠回りするようであっても、それが早道であるとも考えられます。多くの人々の協力が得られて、はじめて事が進んでいくものと思っています。本センターが関係組織との協働による研究や研修の業務をとおして、社会のニーズに対応したよりい貢献ができますよう、関係諸氏のご協力とご支援を改めてお願いしたいと思っております。今年度もどうぞよろしくお願い致します。



センタースタッフ紹介

今年度の特別支援教育研究センターは、センター長をはじめ、以下の8名のスタッフで運営していきます。宜しくお願いします！



藤原義博（筑波大学）

附属大塚特別支援学校校長も兼務していますが、専門は応用行動分析学を基礎に自閉症・知的障害児の教育的支援および特別支援学校授業づくりです。



長崎 勤（筑波大学）

言語・コミュニケーションの発達と支援をテーマに研究しています。前言語期から会話・ナラティブに至る共有の意味を考えています。



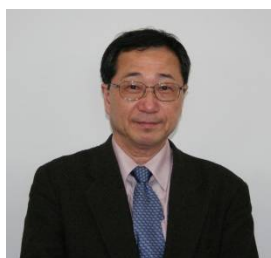
左藤敦子（筑波大学）

日々迷いながら、センター5年目です。聴覚障害教育を超えて多くの先生方とお話しをしてみたいと思っています。文京校舎へお越しの際にはお声かけください。



吉沢祥子（附属桐が丘）

吉沢祥子と申します。4月より桐が丘特別支援学校から来ています。センターにいらっしゃる研修生の方々にとって、是非有意義な成果に繋がるよう努力したいと思っています。



野村勝彦（附属大塚）

センターでの勤務は4年目になりました。今年度5部門会議を担当します。よろしくお願い致します。



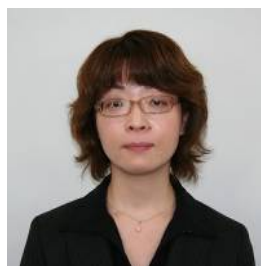
間々田和彦（附属視覚）

視覚障害を中心に特別支援教育での教材研究と開発国の特別支援教育の調査に取り組んでいます。趣味は「知ること」。



日高雄之（附属聴覚）

センターとの兼務も想定外の4年目に突入です。新しくなった文京校舎に促（癒・流）され、気分一新して勤務に励んでいます。



沼澤聡子（附属久里浜）

センター勤務も2年目となりました。今年は免許法認定公開講座を担当します。1欄～3欄、全て開講しますので、お気軽にお問い合わせください。

■センター事業の紹介

◆連携・コーディネート機能◆

本センターは、障害科学系、大学院特別支援教育専攻、附属特別支援学校及びその他の関係機関との連携を支援するために、次の2点に重点をおき取り組んでいます。

- 本学の研究部門と附属特別支援学校間との相互連携的活用の拠点
- 様々な社会的要請に応えうる特別支援教育の連携拠点

運営委員会・・・本学及び附属学校教育局、附属学校間の連携事業や学外の関係機関との連携事業に関する事項および、本センター運営に関する事項の検討を目的として開催しています。

5部門会議・・・各附属特別支援学校より選出された代表により構成され、附属特別支援学校間の連携事業に関する実務的調整および運営を目的として開催しています(構成委員は次ページ参照)。

後援研修事業・・・各附属の内外を問わず、特別支援教育の専門性の向上及び理解・啓発を目的とした研修を後援しています。

◆教員研修機能◆

現職教員研修事業は、特別支援教育体制の推進のために本センターの中核的事業として平成17年度より発足しました。指導法において専門性の高い教員及び特別支援教育コーディネーター養成のため、一定の教育経験を持つ教員等を対象に、附属視覚特別支援学校、附属聴覚特別支援学校、附属大塚特別支援学校、附属桐が丘特別支援学校及び附属久里浜特別支援学校とセンターでの講義・演習と大学での講義聴講を組み合わせた長期研修プログラムを提供し、特別支援学校及び特別支援学級等教員の専門的実践力の更なる向上に取り組んでいます。また、平成21年度より、海外からの現職教員の受け入れを開始し、国際教育協力にも貢献しています。

■平成24年度現職教員研修の開講式が行われました。

4月6日に、特別支援教育研究センターの現職教員研修開講式を開催しました。今年度は5名の研修生を迎え、附属特別支援学校5校を実践研修のフィールドとし、プログラムがすすめられます。

(次回の通信から、研修生の皆さんのコラムがはじまります。ご期待ください！)



平成24年度 現職教員研修生のみなさん

現職教員研修生の勤務先および主たる研修校

氏名	勤務先	主たる研修校
繁本 千尋	静岡県立静岡北特別支援学校	附属大塚特別支援学校
渡邊 美穂	千葉市立あやめ台小学校	附属特別支援学校5校
藤田 錦一	千葉県立袖ヶ浦特別支援学校	附属桐が丘特別支援学校
浅沼 千鶴	千葉県立千葉特別支援学校	附属大塚特別支援学校
佐藤 輝明	北海道真駒内養護学校	附属桐が丘特別支援学校

■ 5 部門会議構成員が決まりました。

5 部門会議は、センタースタッフと附属特別支援学校 5 校の教員（下表参照）で構成され、センターと附属特別支援学校との連絡・調整及び、学校間の連携事業を推進するものです。各校の取組等についての情報を交換し合う中で、それぞれの専門性を活かした教育実践に発展し、連携へとつながっていくことが期待されます。

平成 24 年度 5 部門会議構成員名簿

附属視覚特別支援学校	宮崎 善郎	熊沢 彩子	長島 大介
附属聴覚特別支援学校	今井 二郎	板橋 安人	
附属大塚特別支援学校	安部 博志	吉井 勘人	高橋 幸子
附属桐が丘特別支援学校	田丸 秋穂	松本美穂子	
附属久里浜特別支援学校	吉村 郁子	工藤 久美	

「筑波大学特別支援教育研究」第 7 巻への投稿論文等を募集しています。

センターでは、「筑波大学特別支援教育研究」を年 1 回発行しています。第 7 巻の論文等を募集します。投稿を希望される方は、期日までに以下の 5 項目を編集委員会までご連絡ください。

- (1) 執筆代表者名，所属
- (2) 表題，キーワード（3 つ）
- (3) 論文の種別【学術論文，実践報告】
※論文の種別につきましては、編集規定及び執筆規定をご覧の上、ご記入ください。
- (4) 連名著者の全員の氏名と所属
- (5) 執筆代表者の連絡先（自宅または勤務先の住所，電話番号，メールアドレス）

○申込先：特別支援教育研究センター 編集委員会 宛

○メールアドレス：snerc@human.tsukuba.ac.jp

○Fax：03-3942-6938 ※ホームページより申込用紙をダウンロードできます。

○住所：〒112-0012 文京区大塚 3-29-1

申 込 〆 切：平成 24 年 7 月 11 日（水）

原稿提出〆切：平成 24 年 9 月 28 日（金）

申込はできるだけ電子メールでお願いいたします。件名に「筑波大学特別支援教育研究投稿申込」とお書きください。投稿希望受付後、担当者より執筆規定、執筆要項を送付します。

また、編集規定及び執筆要綱は、特別支援教育研究センターのホームページにてご覧いただけます。

特別支援教育研究センターHP：<http://www.human.tsukuba.ac.jp/snerc/>

問合せ先：特別支援教育研究センター snerc@human.tsukuba.ac.jp